

「親子里山体験 ～『里山』って何？体験してみよう！～」

総合運動公園内「四季の森」で
間伐材を使った工作をしました。

(表紙写真)

15 陸の豊かさも
守ろう



日進市環境基本計画

年次報告書＜やわらか版＞

令和2年度

(令和元年度実績)

「2024年のこどもたちへ」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



目次

環境基本計画について.....	2
水	4
緑	6
まち	8
ライフスタイル.....	10
コミュニティ.....	12
遊びと学び.....	14
市民意識調査から見た目標に対する達成状況.....	16

ハイライト

市の取り組みを紹介します

環境基本計画について

2024年(R5年)の未来像(ビジョン)は？

水

- ・日進市を流れ下る天白川は美しく、その源である三本木川や岩藤川は眩いばかりに輝いている。
- ・天白川だけではなく、街の至る所に飲みたくなるような水と、ずっとそこにいたくなるような情景をたたえた水辺がある。



緑

- ・東部丘陵は自然公園として昔と変わらない多様な自然環境を保ち続けている。
- ・日々人の目を楽しませる公園や街路樹など都市の緑は、里山の緑と繋がり、生態系を結び付けるだけでなく、地球温暖化防止にも一役買っている。



まち

- ・住宅街では、親しみのある街並みが昔と変わらず、人々のコミュニティを守り続けている。
- ・人々はマイカー利用を控え、安全な道路を徒歩や自転車で移動し、便利な公共交通機関を使うようになっている。



ライフ スタイル

- ・街並みは変わらずとも、人々の生活様式は20年前と様変わりし、排水への配慮、省エネルギーなど自然にやさしい生活をしている。
- ・街を歩いていても、不法投棄や散乱ごみのない美しいまちになっている。



コミュ ニティ

- ・人々やその活動は、コミュニティでよくまとまり、活発に情報発信している。

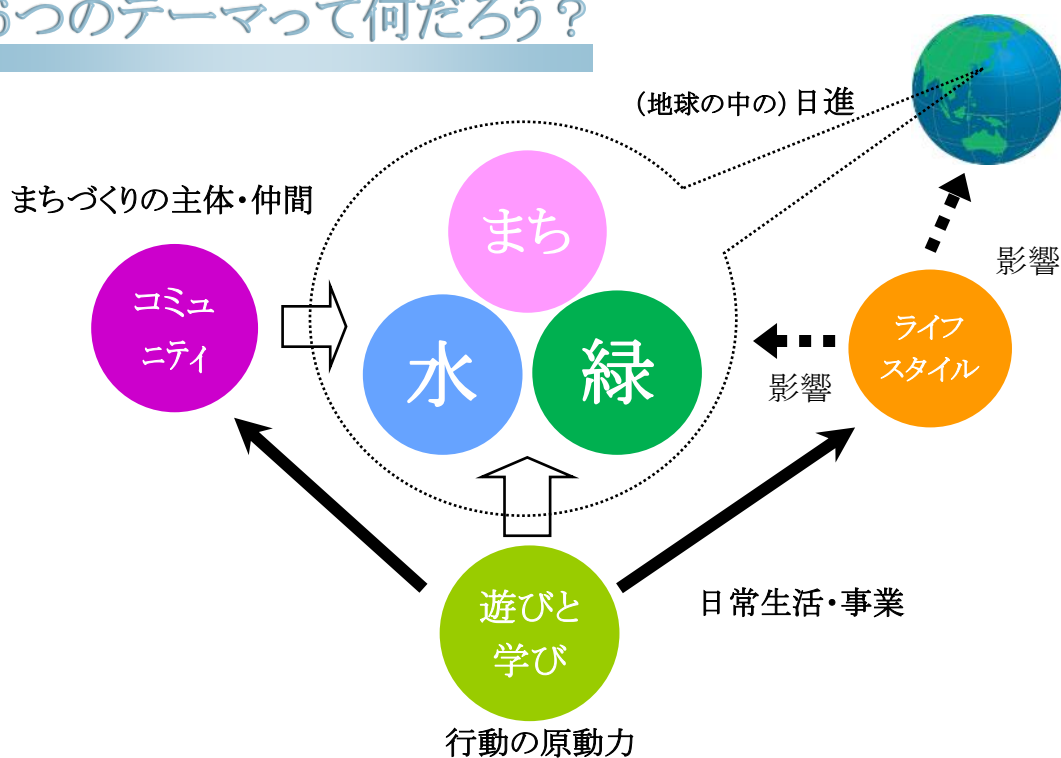


遊びと 学び

- ・自然、環境について学んだり、気づいたりできる楽しいことがたくさん用意されている。



6つのテーマって何だろう？



今は、計画のどのあたり？

環境基本計画は、計画期間の中で短期目標（5年間）と長期目標（10年間）を立てて進めています。今回は、長期目標の設定年度である令和元年度の実績報告です。

▼長期目標達成に向けて…

前回の報告で短期目標（5年間）の取組を終え、今後は、長期目標のゴールである令和5年度（平成35年度）に向けて取り組みを進めていきます。

短期目標の取り組みを終えた時点で達成している項目については引き続き維持するよう取り組みます。一方で達成されていない項目の中でも、年々指標が良くなってきている項目や悪化したり向上したりというように横ばいになっているものもあります。長期目標取り組み期間終了（令和5年年度）時点でより多くの項目が目標を達成できるよう、より一層取り組みを強めていく必要があります。

START



2004.4 (H16年度)

現在はココ！

GOAL

2024.3 (R5年度)

2020.3 (R元年度)

環境基本計画



「環境」「基本」「計画」という3つの言葉の組み合わせでできているこの計画。

県や市などそれぞれの自治体が独自に作る、[自分たちのまちの環境をこんなふうにしていこう！]という基本的かつ重要な行政計画のことです。

計画の経緯

日進市では、平成13～15年度の3年をかけて、市民と市職員との共働で「日進市環境基本計画」をつくりました。

中間の見直し（平成25年度）では、ESD（※P14参照）の推進と多様な組織の参加、連携促進を盛り込んでいます。

水

14 海の豊かさを
守ろう



6 安全な水とトイレ
を世界中に



水生生物調査

毎年8月の第1木曜日に
行われる、環境課と愛知中
央ライオンズクラブとの共催
イベントです。

令和元年度は、127名の
参加があり、延べ参加者数
は1,107名となりました。

参加者は網やバケツを
持って川に入り、天白川に
住む様々な生物を採集しま
す。採集が終わると、どん
な生物がいたのか、講師の
説明を聞きながら数を記録
します。発見した生物の種
類や数から、川の水質が大
まかに判別できます。

水生生物調査の記録は、
毎年環境課が取りまとめ
て愛知県に報告しています。

[環境課 ESD推進係]

Tel:0561-73-2896

水について

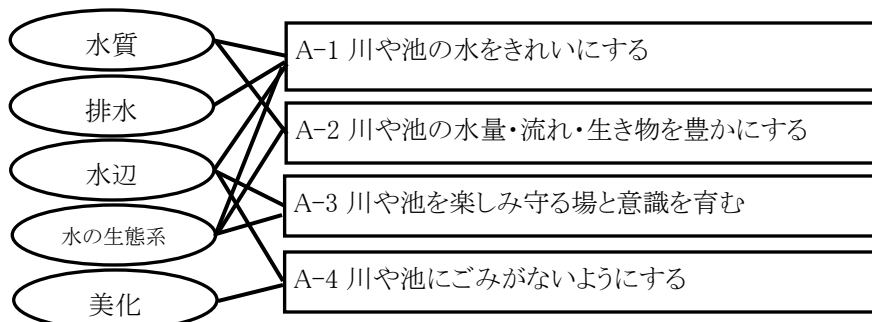
日進で「水」と聞いて真っ先に思い浮かぶのは、市域を東西に
流れる天白川とその支流です。あるのが「当たり前」になってい
る水ですが、私たちにとってかけがえのない、無くてはならない
ものです。水は気体や個体などさまざまな形に姿を変え、私たち
の生活にかかわっています。そして水は何度も自然の中で循環
し、再生を繰り返しています。

きらきら光る水面、そこに映る季節の景色、鳥たちが舞い、魚
が躍る、そんな美しい水辺であるように、河川やため池、排水の
調査を行うことで川の現状を知り、
川がきれいになるにはどうすれば
よいかを考えていきます。また、市
民の憩いの場として、「ふるさと日
進」の大切な要素としてまちづくりに
活かしていきます。

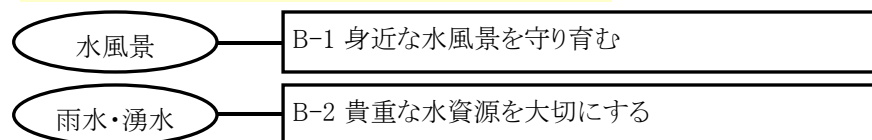


何をするの？

◆ A. 川や池の水と水辺



◆ B. 水の風景・水資源



何をしたの？(R元年度の取り組み＜抜粋＞)

日進市を源流とする天白川。この天白川には市内で発生した生活排水や汚水を処理した水のほぼすべてが流れ込んでいます。生活排水の水質を改善し、天白川の自然環境を守るために微生物活性酵素「マイエンザ」を活用した「みんなで守ろう優しい自然と水辺環境」が環境改善推進の会の企画により開催されました。参加者は、微生物活性酵素による働きや家庭での利用方法についての講義を受けた後、ワークショップではスタッフから説明を受けながら熱心にマイエンザ作りに取り組みました。



生活排水を考えましょう

川や海の汚れは、台所・洗濯・風呂等などの生活雑排水が主な原因となっています。

きれいな水環境を守るためには、日常での生活排水対策や浄化槽を正しく管理することが大切です。

合併浄化槽は、家庭から出る水の汚れの約90%を除去することができます。

単独浄化槽から合併浄化槽へ転換の際には、費用の一部を補助します。

詳しくは、環境課までお問い合わせください。

[環境課 環境保全係]

Tel:0561-73-2843

どうなったの？

	判断する基準	単位	H24実績	傾向	R1実績	長期目標【R5】
A1	河川のBOD平均値 (各河川測定地点値)	mg/L	2.8	→	3.1	5以下
	生活排水処理率	%	83	↑	91.3	93
A2	多自然型河川・親水公園等の整備箇所数	箇所	0	→	0	10
A3	水生生物調査延べ参加者数	人	575	↑	1,107	2,000
A4	河川愛護団体数	団体	10	→	10	20
B1	ため池の数	箇所	44	↓	40	現状維持
	1人1日当たりの水道使用量	L	233	↑	223	210 (10%減)
B2	浄化槽転用延べ補助数	世帯	75	↑	77	108



※平成24年度実績を「計画見直し後の基準数値」とし、それと令和元年度実績を比べた際の、目標に向かっての進み具合を「傾向」で示しています。
また、目標に達しているものは★であらわしています。

緑

15 陸の豊かさも
守ろう



ハルリンドウ

大清水湿地

日進市総合運動公園を造成した際に見つかった湿地で、斜面から湧き出る湧水によって東海地方に多い斜面状湧水湿地となっています。湿地内では、ハルリンドウ、カキラン、ノギラン、コバノトンボソウ、シラタマホシクサなどの湿地性植物が確認されており、ハッチョウトンボ、ヒメタイコウチなど湿地の昆虫も生息しています。

毎年、4月に湿地の公開を行いますので、是非ご覧ください。

詳しくは、都市計画課までお問い合わせください。

[都市計画課 公園緑地係]

TEL:0561-73-3297

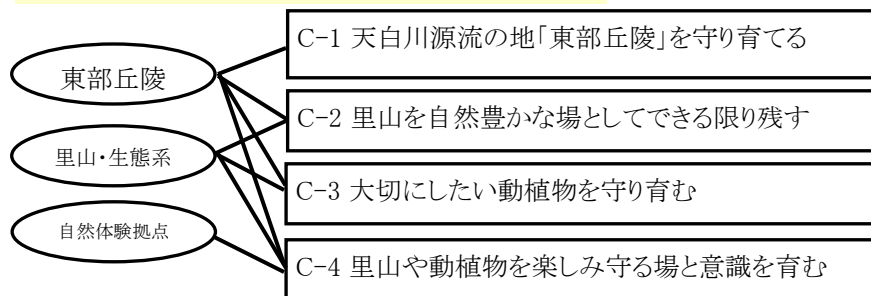
緑について

緑のある風景といえば、里山や田畑など、日本のふるさとの原風景を思い浮かべる人も少なくないでしょう。緑は生き物の命を育み生態系をつなぐ場となっています。また、光合成により二酸化炭素を吸収し、地球温暖化の抑制にも役立っています。こうした森や緑がなくなるということは、空気やそこで暮らす生物たちのつながりもなくなってしまうことになります。

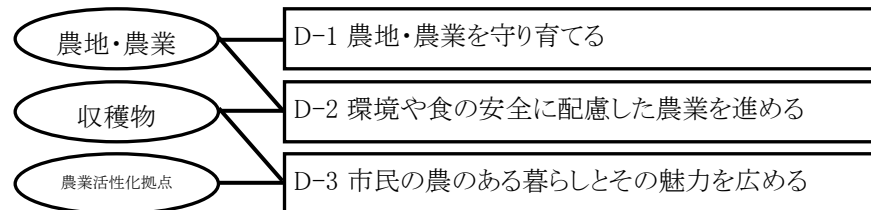
市の東部には、緑豊かな自然が残されています。このような多様な自然環境を守るとともに、人々が自然を感じ学ぶ場所を次の世代へ引き継いでいくこと、また農地・農業にも関心をもち、農業がもっと親しみやすいものとなるよう、地域の農業を活性化し人と緑、人と人を結びつけるようなみどりあふれる豊かなまち、日進を目指しています。

何をするの？

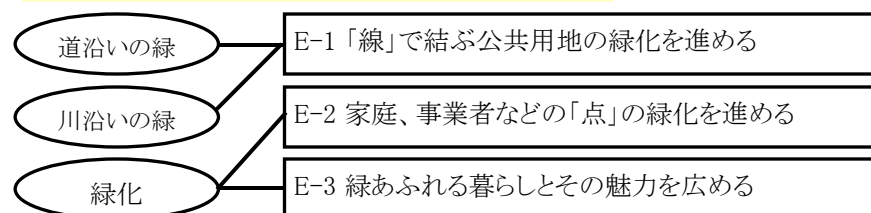
◆ C. 里山と息づく動植物



◆ D. 農のある暮らし



◆ E. 緑のネットワーク



何をしたの？(R元年度の取り組み＜抜粋＞)

私たちの周りには多くの「里山」があることをご存知ですか？昔から人の手が入り、生活に密着した里山は身近な存在でした。近年生活様式が変わり、人々が里山から離れ、里山の環境が悪くなってきています。里山で暮らす生物たちにも影響が出ているのです。

日進市の北高上緑地では、平成20年度から里山の整備工事を行いました。現在の整備された北高上緑地では、季節ごとに里山体験イベントが開催されています。4月上旬に開催されたコバノミツバツツジまつりでは、緑地がピンク色に染まる中、コンサートが開催され、来園者に楽しんでいただきました。11月には秋の樹木観察ツアー、2月にはシイタケ栽培体験が行われるなど、季節による変化を活かしたイベントが計画され、幅広い年齢層の参加者が里山と触れ合いました。

他にも、里山保全活動に興味のある方を対象とした、里山保全実践講座を開催しました。参加者は、全3回の座学と実践を通して、里山の整備方法や里山の生物について学びました。

どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	傾向	R1実績	長期目標【R5】
C1	森林面積※	ha	654	↓	631	593以上維持
C2	里山保全活動拠点数	箇所	6	→	6	10
C3	大清水湿地に発現すると見られる10種の希少種保護数	種	9	→	9	10
C4	日進自然歩道延長	km	5	↑	6.8	30
D1	農地面積	ha	470	↓	449	452以上維持
	休耕田の面積	ha	56	↑	38.3	41
D2	学校給食における地場産物の使用率	%	57.7	↓	55.9	60
D3	市民菜園区画数	区画	1,111	↑	1,303	3,000
E1	緑地率	%	41	↓	38	39 確保
E2	公園等愛護会活動公園数	箇所	51	↑	60	84
E3	市民に開放された樹林地箇所数	箇所	14	↑	15	50

※森林面積は、赤池箕ノ手土地地区画整理や市内各所で行われる開発事業で減少しているものの、目標値は維持しています。

市民農園

本市では、多くの市民の皆様「に農」に親しんでもらえるよう、市民農園を開設しています。

令和元年度、市直営の市民農園は、梅森台・岩崎台・東山・檀木・阿良池・八幡西の6園に加え、田園フロンティアパーク構想に基づき田園フロンティアパーク本郷農園を開設しており、多くの市民にご利用いただいています。また、同構想では民間運営の市民農園の開設を推進しており、現在、市内12園が開設され、こちらでも多くの利用者が家庭菜園を楽しんでいます。

各市民農園では、随時、空き区画の利用者を募集しています。自然の中で土に触れながら、時間を過ごしてみませんか。詳しくは、農政課までお問い合わせください。

[農政課 農政振興係]

TEL:0561-73-2197

まち



くるとく るりんばす

くるとく るりんばすは、日進市の生活交通手段として運行しており、その利用者の約半数が65歳以上の高齢者です。また、通勤や、学生の通学にもご利用いただいています。

平成31年3月上旬から、市内出身の人気声優「石田彰さん」による、くるとく るりんばす車内音声案内を実施しております。音声案内は、主に市内のみどころスポットを紹介したものです。取り上げるスポットの選定や読み原稿素案の作成は、名古屋外国語大学の山本ゼミの学生さんたちにご協力いただきました。

石田彰(いしだ あきら)さん

出演作品

「新世紀エヴァンゲリオン」渚カヲル役、「キャプテン翼」松山光役 ほか多数

詳しくは、防災交通課までお問い合わせください。

[防災交通課 移動政策室]

TEL:0561-73-3249

まちについて

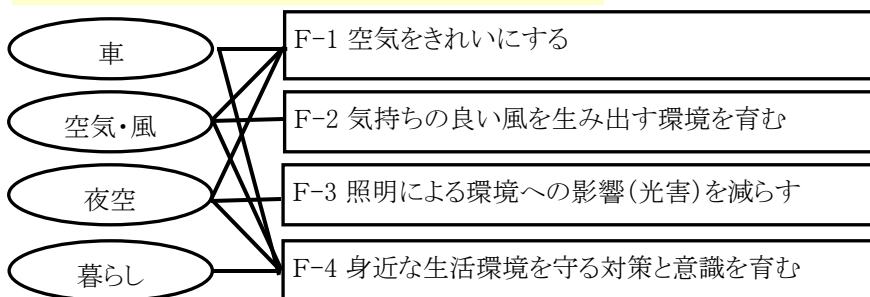
環境には、自然だけではなく、私たちが暮らす場所も含まれています。歴史や文化、住みやすさなど、人が暮らす空間を「まち」ととらえ、暮らしや住環境について考えています。

住環境に目を向けると、地球温暖化の要因の一つである車の排気ガスが問題となっています。そこで、低公害車の普及や公共交通機関の利用を進めることで車中心の生活を見直して、自然と調和した、市民が憩い、歩きながらまちを楽しめる空間を作り出すことを目指しています。

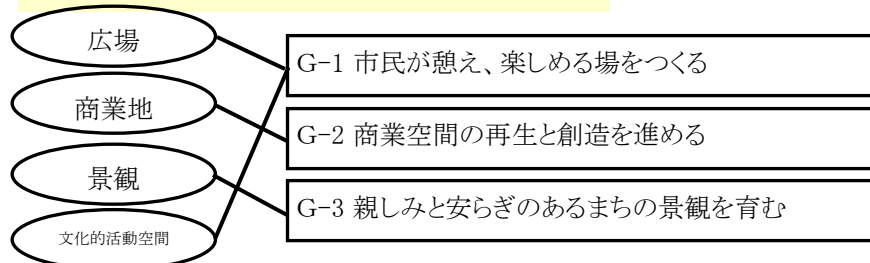
また、昔ながらの建物は今でも人々の手で大切に守られていて、歴史や文化を継承して活かすことにより愛着の持てる、誇りにできる「まち」を創り出すという、環境保全と市街化という、一見矛盾したものを調和させながらまちづくりを進めています。

何をするの？

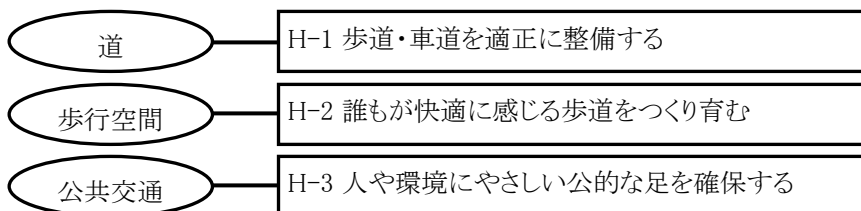
◆ F. 生活環境



◆ G. まちなみ・まちかど

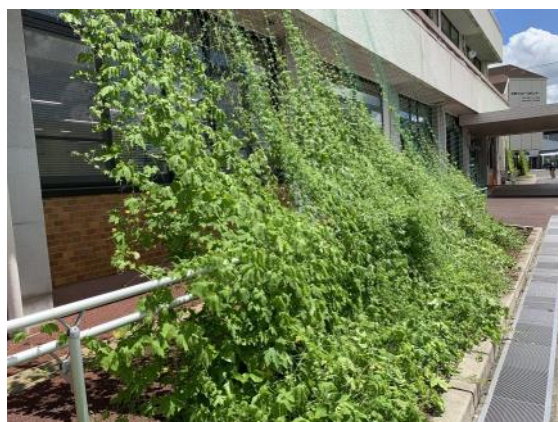


◆ H. みちと足



何をしたの？(R元年度の取り組み＜抜粋＞)

日進市は、都市に隣接していながらも、天白川流域の平地に農耕地が広がり、東部丘陵や御嶽山周辺など、自然が多く残されている地域があります。そんな緑が多く残る日進市ですが、近年では住宅地としての開発が進んでいます。そこで、生活の中で緑を増やす工夫として、平成22年度から「緑のカーテンコンテスト」を開催しています。コンテストで選ばれた作品は、平成29年度から、「にっしん市民まつり」内にて表彰しています。10年目を迎えたコンテストには、62件の応募があり、夏を快適に過ごす工夫として取り組まれています。身近な緑に触れ合える機会を創出し、豊かな森と緑を守る心と活動を育みながら、二酸化炭素の削減やヒートアイランド現象の緩和を目指します。



どうなったの？

	判断する基準	単位	H24実績	傾向	R1実績	長期目標【R5】	
F1	大気汚染に係る環境基準適合率	%	100	→	100	100	★
	エコドライブ宣言者数	人	0	↑	857	4,000	
	市所有自動車のエコカー導入率	%	57.8	↓	51	100	
F2	緑のカーテン延べ参加者数	人	558	↑	1,032	2,000	★
F3	光害苦情処理件数	件	0	→	0	0	
F4	公害苦情処理件数(光害を除く)	件	125	↑	61	113	
G1	市民一人あたりの公園面積	m ²	9.0	↓	8.6	10	★
G2	事業所数(商店数)	件	2,383 (商店493)	↓	2,053 (商店396)	2,350以上 維持	
G3	まちなみ保存地区数	地区	0	→	0	2	
H1	幹線道路の歩道整備率	%	78.3	↑	79.9	85	★
H2	道路緑化面積	m ²	24,780	↑	26,445	26,000	
H3	ぐるりんばすの一日あたり利用者数	人	1,404	↓	896	1,600	

※大気汚染に係る環境基準適合率は、浅田町と五色園の大気測定データが環境省の基準を満たしているため達成となっています。

ぐるぐるNISSHIN

まちミル博覧会

にっしんのことが「好きだ」、「また訪れてみたい」という、“にっしんファン”がもっともっと増えていくことを願って、平成29年度から日進市全域で様々な体験プログラム“ぐるぐるNISSHINまちミル博覧会”を開催しています。

この体験を通じて、市内外に住んでいる多くの人になっしんの素晴らしさを発見してほしいと思います。

[産業振興課 わがまち営業係]

TEL:0561-73-2196



ライフ
スタイル

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



COOL CHOICE

地球温暖化の取組みは、温室効果ガスの排出量が増加傾向である家庭部門での対策が大切になってきています。そこで、「COOL CHOICE」行動（地球に優しい賢い選択）の手助けとしていただくため、クールシェア・ウォームシェアを実施しました。クールシェア・ウォームシェアとは、暑い日、寒い日に家の電気使用量の半分以上を占めるエアコンの使用をやめ、涼しい場所、暖かい場所をみんなでシェアすることです。令和元年度は市内の公共施設、協力店舗、プラットフォーム・ほっとカフェで実施しました。

また、令和元年11月に開催された市民まつりでは、環境課出展ブースに集まっていた親子連れに、X博士の〇×クイズを出題し、COOL CHOICEの普及啓発を行いました。

[環境課 ESD推進係]

TEL:0561-73-2896

ライフスタイルについて

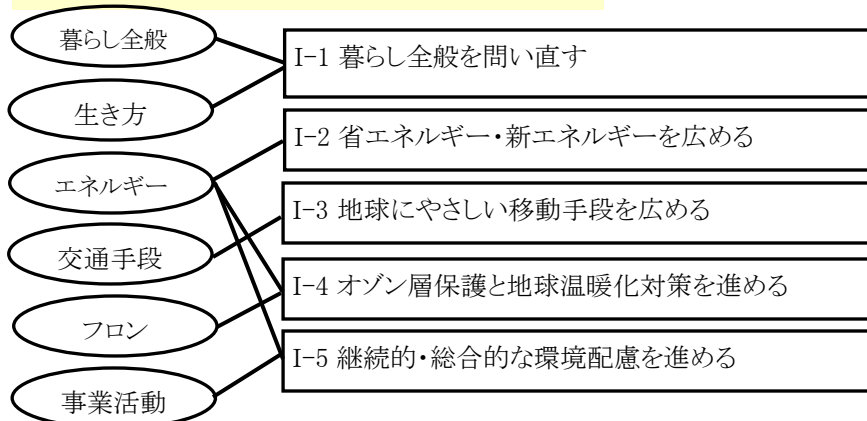
現代の私たちのライフスタイルは、環境に大きく影響を与えます。そして私たちが便利な生活をするほど、地球の環境は悪くなっていきます。そんな私たちの現代的なライフスタイルや考え方を改める必要があるかもしれません。

でも、やっぱり便利でやめられない。なんとかしなくちゃ、そんな想いはあっても、何をすればいいのか分からない。そういう人も多いのではないのでしょうか。市では、地球温暖化やごみ問題などについて、生活しながらできる取り組みを広報、ホームページ、メールマガジン等で情報を発信しています。

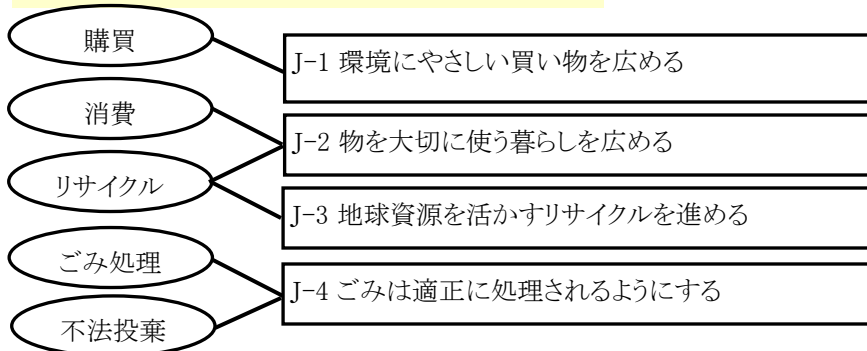
その他にも、情報を伝えられた人の「行動につながる」効果的な情報の一つに口コミがあります。そこで講座やイベントなどの機会を設け、参加者の口から口へと伝わることで、一緒に楽しむ仲間が増え、こころと体にもやさしいエコ生活を始めてもらいたいと考えています。

何をするの？

◆ I. 暮らし全般・エネルギー



◆ J. 生活と廃棄物



何をしたの？(R元年度の取り組み＜抜粋＞)

持続可能な地元の産品の販促につながる取組では、市内にある店舗では、様々な環境へ配慮する取り組みが行われています。あいち尾東農業協同組合(JA)では、管内スーパーにて産直野菜の販売を実施しており、特にプライムツリー赤池では産直品専用スペースを設置して販売を行っています。

また、市内の学校給食には県内産の農畜産物や水産物を積極的に使用し、市内産農産物についてはJAと協力して使用拡大に努めるなど地産地消を推進しています。

地球温暖化対策の取り組みであるクールシェア・ウォームシェアスポットの協力店舗として、新たにプライムツリー赤池やあんこ椿が加わりました。住まいのCOOL CHOICE(「賢い選択」)の取り組みとして、省エネ、創エネ、蓄エネ機器の設置を行う市民に対して設置補助を行いました(地球温暖化対策機器設置補助件数:延べ計2,540世帯)。

＜R元年度補助実績＞	計236件
太陽光発電システム	78件
太陽熱利用システム	0件
エネファーム	31件
蓄電池	79件
HEMS	38件
電気自動車充電設備	2件
エコ窓改修	8件



電動生ごみ処理機の貸出し

生ごみの臭いや量にお悩みの方に、電動生ごみ処理機の貸出しを行っています。温風で生ごみを乾燥させて水分を飛ばすので、臭いや重さが軽減され、ごみ出しが楽になります。処理した後の生ごみは有機肥料として使うこともできます。

また、電動生ごみ処理機、生ごみ堆肥化容器を購入する際に補助金を交付しています。

電動生ごみ処理機の貸出状況や補助金の詳細は、環境課までお問い合わせください。

【環境課 資源循環係】

TEL:0561-73-2883



どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	傾向	R1実績	長期目標【R5】
I1	エコライフ宣言者数	人	0	↑	1,725	3,000
I2	太陽光発電設備設置世帯割合	%	4.0	↑	9.1	25
I3	市内3駅の乗降客数	人	37,590	↑	数字は年末頃	54,000
I4	市役所環境保全のための行動計画達成率	%	55	↑	68.3	100
I5	ISO取得事業者数	社	21	↑	22	25
J1	環境配慮宣言店舗数	店	79	↑	81	向上
J2	フリーマーケット開催数	回	1	↓	0	5
J3	リサイクル率	%	27.2	↑	29.7	28.3
J4	1人1日当たりのごみ排出量	g/人・日	939	↑	850	770
	不法投棄量	t	43	↑	31	9



コミュ ニティ

11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナースhipで
目標を達成しよう



にぎわい交流館

にぎわい交流館は、市民自治活動支援の拠点ならびに、国際交流・大学交流の拠点として、また、広く市民の皆様が交流できる場となるよう、平成17年11月に誕生しました。

1階市民サロンは、待ち合わせ、おしゃべり、くるりんぱす待ちなど、いつでも気軽にご利用いただけます。また、月曜日から土曜日のお昼には、ワンデイシェフによるランチの提供も行っています。

2階では、日進市国際交流協会において、多言語による外国人相談室を開設しているほか、人権・男女共同参画情報コーナーでの関連図書の閲覧や貸し出しも行っています。

詳しくは、にぎわい交流館までお問い合わせください。

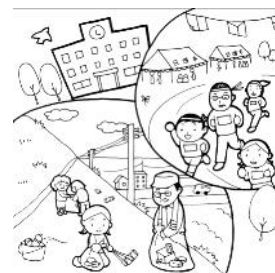
[にぎわい交流館]

TEL: 0561-75-6650

コミュニティについて

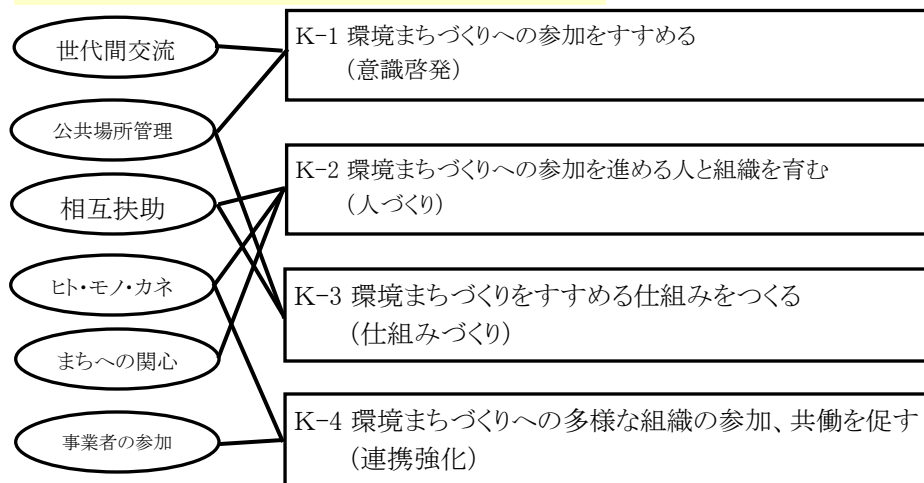
現代環境とコミュニティには、とても深いつながりがあります。コミュニティは人間が「いきる」環境そのもの。コミュニティは、環境まちづくりの大切な要素なのです。

どんなまちづくりも、いちばん大切なのは人と人のつながりというソフト面。素晴らしいハコやキマリができて、そこで暮らす人たちが仲良くいきいきとしていなければ、意味がありません。そのために、環境というどんな立場の人たちにも等しく関わる視点をもって、人と人とのつながりを作って深めていくことが大切なのです。



何をするの？

◆ K. コミュニティ



何をしたの？(R元年度の取り組み＜抜粋＞)

持続可能な地域社会を目指し、市民や市民団体、企業と行政が皆で作り上げる仕組みとして「にっしん環境まちづくりサポーターズ制度」が平成28年度から始まっています。市民や団体の皆さんに会員になっていただき、いろいろなエコ活動に参加していただくことによって、にっしんの環境まちづくりを進め、持続可能な社会の実現を目指して作られました。

この制度は、環境課が進めるESD(持続可能な開発のための教育)の活動支援も伴っており、ESD環境講座、市の環境イベントに参加、緑のカーテンコンテストへ参加、地球温暖化対策機器補助金申請など、環境まちづくり活動が期待できる事業へ参加した市民の方にポイントを交付しています。また、他の部署とのコラボで、北高上緑地見学会やオープンガーデン事業などへの参加でも環境まちづくり活動に含まれポイントを交付しています。

令和元年度末までに延べ2,170件の方に登録いただき、抽選会は32社の企業から協賛いただきました。年2回の抽選会には約1,050人の応募件数があり、これからの活動の励みにしていただきました。楽しみながらエコ活動に取り組んでいただきながら、人と人がつながる、新しいコミュニティのカタチを作り出そうとしています。



日進市環境基本計画
パートナーシップ事業

市民団体の皆様が行う環境活動や環境イベントで、日進市環境基本計画のパートナーとして計画を推進していただける事業やイベントを募集しています。
※日進市市民活動団体登録を行っている団体が対象です。

【R元年度実績 6団体8事業】

- ・愛知池友の会
『記念植樹祭』
- ・折戸川にホテルを飛ばそう会
『折戸川ゴミ拾いウォーク』
- ・NPO法人 海賊船
『ストリートアーティスト達
のものづくり展』
『世界の手作りおもちゃ館特別展示』
『マリ、ニジェールのアート展』
- ・天白川で楽しみ隊
『天白川で楽しみ隊!』
- ・にっしん市民環境ネット
『農育プロジェクト』
- ・日進市・ペット共生文化を考える会
『飼い主マナーの普及事業』
(50音順)

詳しくは、環境課までお問い合わせください。

[環境課 ESD推進係]

TEL:0561-73-2896

どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	傾向	R1実績	長期目標【R5】
K1	区・自治会加入率	%	71.1	↑	73.8	80
K2	にぎわい交流館の利用者数	人	35,550	↑	36,140	41,000
K3	環境パートナーシップ協定締結団体数 (環境まちづくりパートナーシップ制度団体数)	団体	0 (-)	↑	0 (40)	20
K4	地域活動参加事業者数	事業者	14	↑	27	20



※「環境パートナーシップ協定締結団体」については0となっていますが、市の方針としては環境まちづくりパートナーシップ制度の団体数に統合しています。こちらの団体数は順調に伸びているため、施策の目的は達成できていると判断しています。

遊びと 学び

4 質の高い教育を
みんなに



ESD
AICHI-NAGOYA

ESDとは？

ESDとは、「Education for Sustainable Development」の略称で、「持続可能な開発のための教育」と訳されます。

今、世界には環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があります。ESDとは、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。

日進市では講座などを通して、ESDの考え方を取り入れた人づくりを行っています。



遊びと学びについて

このテーマでは、ESDの考え方である「人と自然」「人と社会」「人と人」のつながりを大切にし、様々な世代の方に、遊びの中で学びながら環境まちづくりやそれにつながる活動を進める力を身につけてもらい市民全体の環境に対する感性をみがいていきたいと考えています。

代表的な取り組み

にっしんESD講座

日進市で活躍する市民団体と共働で行っている「公募提案型事業」では、環境基本計画の施策に沿った「水・緑・まち・ライフスタイル・その他環境全般に関する環境共育」に関する講座を実施しています。また、その他にも企業と連携した学習講座も多く実施しています。

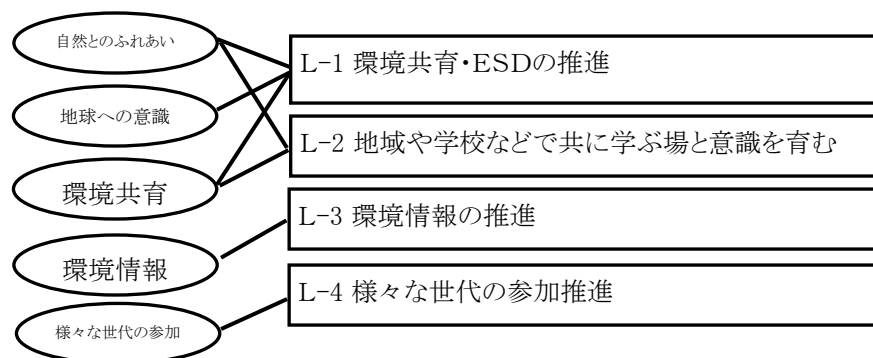


(写真左: にっしんESD講座「エコと太陽光発電教室」より)
(写真右: にっしんESD講座「竹を使って篠笛を作ろう!」より)



何をするの？

◆ L. 遊びと学び



何をしたの？(R元年度の取り組み＜抜粋＞)

「ESD(持続可能な開発のための教育)」の祭典として、令和元年7月に「にっしんわいわいフェスティバル」が市民会館・スポーツセンターで開催されました。日進市で活躍する119の市民団体が参加し、約3,700人が来場しました。取り組みに関するSDGsによって6つにゾーン分けした各ブースでは、SDGsのアイコンを掲示し、出展者から来場した方々に「自然環境」「平和」「人権」「防犯」「男女平等」などの取り組みが紹介されました。市内大学の多くの学生も出展者側で参加し、出展者から来場者だけではなく、出展者から出展者へもESDの意思が伝わる場となりました。



持続可能な社会の実現

本市では、ESDの考え方を取り入れた人づくりを行い、持続可能な社会の実現を目指しています。その実現には、地域産業の担い手となる事業者の協力も欠かせません。

パリ協定や持続可能な開発目標(SDGs)などを背景として、環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)(以下「ESGという。」の3分野への取組を踏まえた資金の流れが世界的に広がっています。事業者が持続可能性の基盤となるESG要素を取り入れ、環境課題と経済・社会的課題の同時解決に向けた取組を広めていくことで、地域の持続可能な成長につながることが期待されます。市、市民、事業者がそれぞれの立場で課題解決に向けて取り組むことで、持続可能な社会の実現を目指しましょう。

[環境課 ESD推進係]

どうなったの？

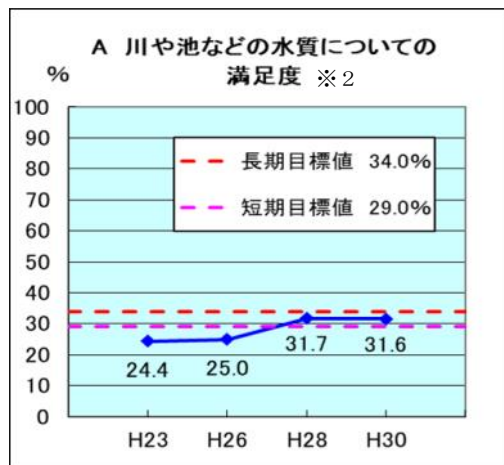
	判断する基準	単位	H24実績	傾向	R1実績	長期目標【R5】	
L1	環境共育講座数	講座	16	↑	64	30	★
L2	環境パートナーシップ事業数	件	4	↑	8	20	
L3	エコフェスタ参加団体数 (にっしんわいわいフェスティバル参加団体数)	団体	31	↑	20 (119)	40	★
L4	こどもエコクラブへの参加こども数※ (環境まちづくりサポーターズこども会員数)	人	106 (-)	↑	13 (540)	300	★

※「こどもエコクラブへの参加子ども数」については減っていますが、市の方針としては環境教育への参加者数については環境まちづくりサポーターズ制度の会員数に統合しています。こちらの会員数は順調に伸びているため、施策の目的は達成できていると判断しています。

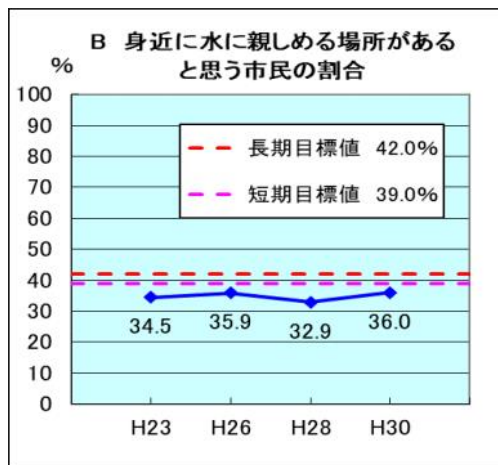
市民意識調査から見た目標に対する達成状況

市民意識調査って何だろう？

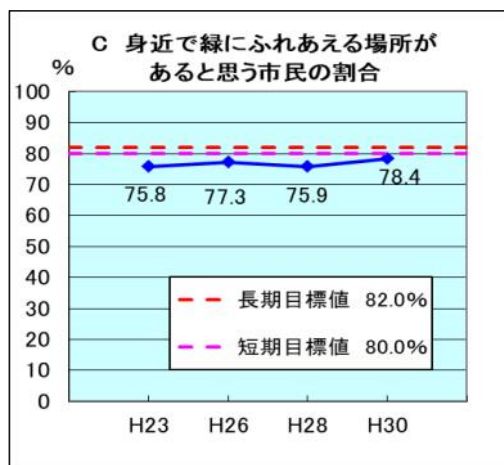
平成23年度からスタートした「第5次日進市総合計画(※1)」に掲げる各施策の進行管理及び評価を行うために、3年に一度を目安として行う調査です。(平成26年より2年に一度に変更)



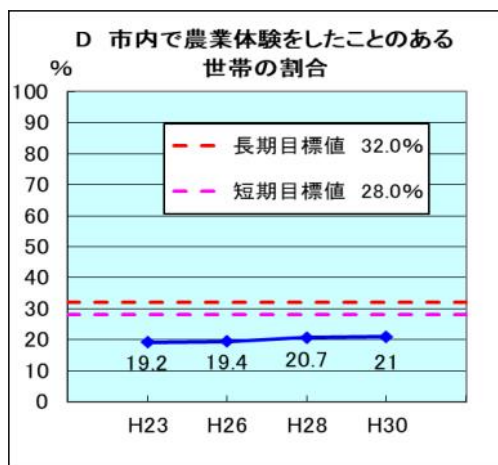
※水環境についての設問です。



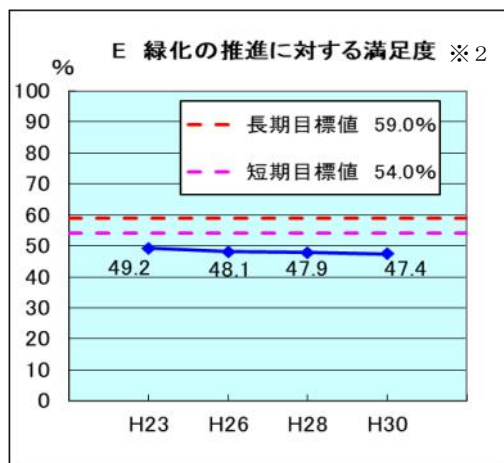
※水辺環境の保全・創出についての設問です。



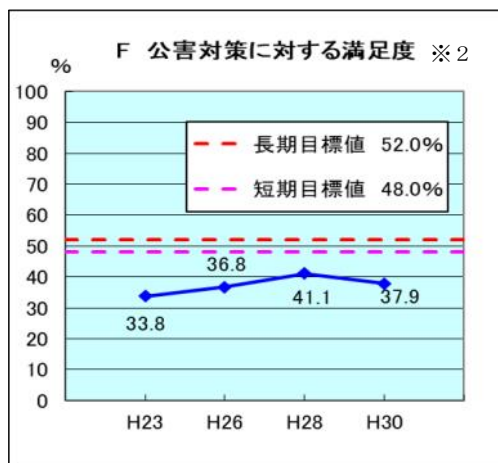
※緑地環境の保全についての設問です。



※市民に親しまれる地産地消・交流型農業の推進についての設問です。



※緑化推進・緑地保全についての設問です。

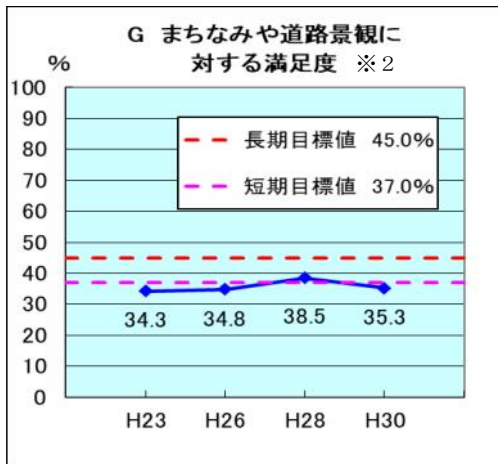


※地域環境の向上についての設問です。

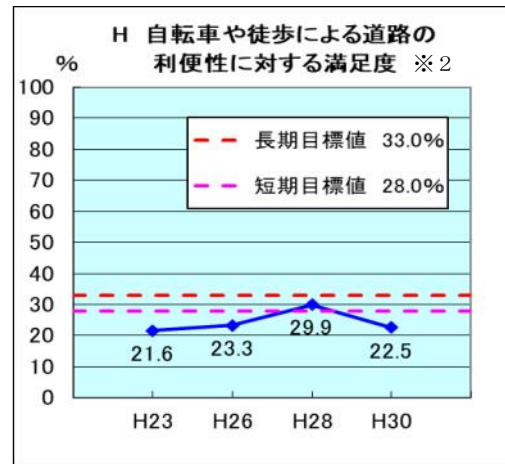
【調査概要】

1. 調査対象：日進市在住の18歳以上の方
(平成30年7月1日現在)
2. 抽出方法：無作為抽出
3. 調査方法：郵送配布・郵送回収
4. 調査時期：平成30年7月
5. 配布数：3,000票
6. 有効回収票：1,265票
7. 有効回収率：42.2%

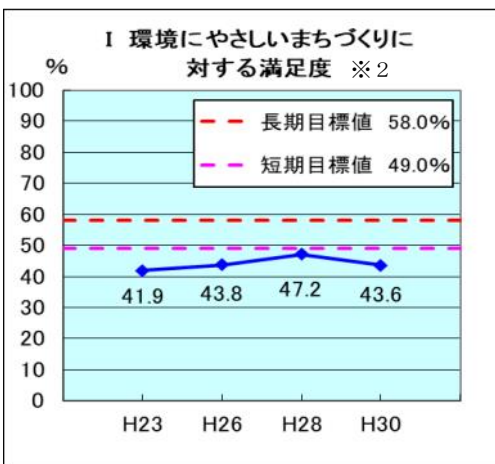
※回収できた回答から、集計に不適切な回答を除いた割合



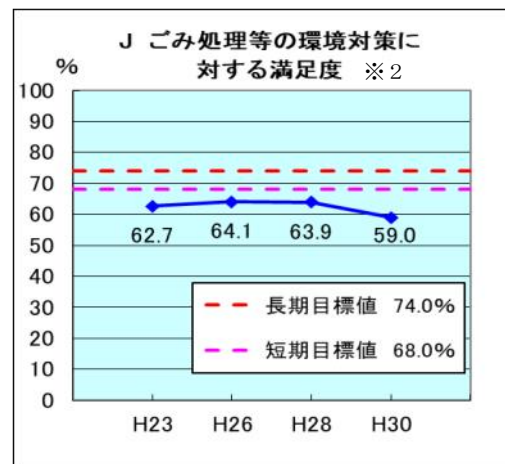
※景観についての設問です。



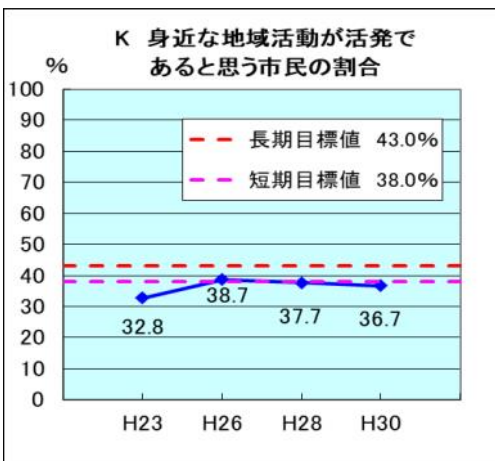
※交通環境整備による安全性の確保についての設問です。



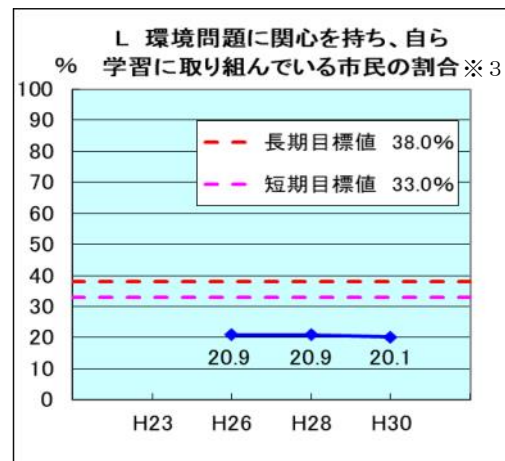
※低炭素社会に向けた取組についての設問です。



※ごみの適正処理と再資源化の推進についての設問です。



※地域コミュニティ活動の活性化支援についての設問です。



※環境意識の向上についての設問です。

※2 各表の割合は、環境や日常生活に関する暮らしやすさの評価の設問において、満足している人の割合です。

※3 「L」にH23の記載が無いのは、H23とH26で質問内容が変わったことにより比較ができないため、この項目に限りH26を基準値としています。

令和2年度取り組みを紹介します！

企業と連携した地球温暖化対策事業を実施しています。

日進市では、「日進市地球温暖化対策実行計画-区域施策編-」のもと、2023年度を目標年度として温室効果ガスの削減に取り組んでいます。

家庭部門での温暖化対策の取り組みとして、前年度人気を博した、企業と連携した講座を今年度も開催しました。

パナソニックと連携し、 地球温暖化省エネ教室を開催

LEDのソーラーライト工作を通して、電力と地球温暖化の関係や省エネについて学びました。



東邦ガス ガスエネルギー館と連携し、 地球温暖化を学ぶ科学実験教室を開催

冷却実験を通して、地球温暖化の現状や環境に優しい行動について学びました。



(株)中西と連携し、 親子 de リサイクルツアーを開催

陶磁器・ガラスのリサイクル工場にて、資源として回収されたびんの分別・色分け処理を見学しました。リサイクルにおける分別の大切さを学びました。



シーピーセンター(株)と連携し、 親子でパソコン分解教室を開催

パソコンを実際に分解して、中にかくれているレアメタルや再利用可能な金属類を取り出しました。資源の再利用を学ぶことで、分別の大切さを学びました。



【担当者のつぶやき】

便利で文明的な生活からは、毎日たくさんの二酸化炭素が排出されています。このまま大気中の二酸化炭素濃度が上昇し続けると、地球温暖化による気候変動はより深刻な問題となっていくます。そこで、気候変動による被害を回避・軽減するために、温室効果ガスの排出を抑える「緩和」と、気候変動の影響に備えて、社会の仕組みや一人ひとりの生活のあり方を変える「適応」の2つの対策をとることが必要です。

「適応」って何だろうと思うかもしれませんが、例えば、大型台風等による災害に備えて事前にハザードマップを確認することや、熱中症予防にこまめな水分補給をすること、夏に植物でグリーンカーテンをつくって室内温度を下げるなどが「適応策」です。

気候変動の影響に備えて、できることから始めてみましょう。

にしん環境まちづくり サポーターズ制度

持続可能な社会をつくるしくみとして「にしん環境まちづくりサポーターズ制度」を実施しています。

令和元年度も、多くの企業の方から抽選会の景品を頂きましたのでご紹介します。

【協賛企業・団体一覧】

- ・(株)愛知銀行赤池支店
 - ・愛知信用金庫日進支店
 - ・あいち尾東農業協同組合日進支店
 - ・(株)愛知ヤクルト工場
 - ・アクティオ(株)
 - ・荒川工業(株)
 - ・(株)大垣共立銀行ながくて支店
 - ・岡崎信用金庫東郷支店
 - ・木祖村
 - ・興亜商事株式会社
 - ・コニックス(株)
 - ・(株)ジェイエエルシー
 - ・(株)十六銀行赤池支店
 - ・瀬戸信用金庫日進支店
 - ・(株)タンガロイ
 - ・中央可鍛工業(株)
 - ・中部電力(株)天白営業所
 - ・(株)デンソー先端技術研究所
 - ・(株)東伸サービス
 - ・豊田信用金庫米野木支店
 - ・豊田信用金庫日進支店
 - ・(株)名古屋銀行日進支店
 - ・ハマダスポーツ企画(株)
 - ・(株)ビートソニック
 - ・碧海信用金庫東郷支店
 - ・(株)マーゼンプロダクツ
 - ・マスプロ電工(株)
 - ・マックスバリュ米野木店
 - ・三菱UFJ銀行日進支店
 - ・(株)山本工務店
 - ・ユニー(株)ピアゴ香久山店
 - ・ラフィーユ日進店
- (50音順)



令和3年1月

発行: 日進市

生活安全部 環境課

住所: 日進市蟹甲町池下268番地

電話: 0561-73-2896

FAX: 0561-72-4603

Email: kankyo@city.nisshin.lg.jp